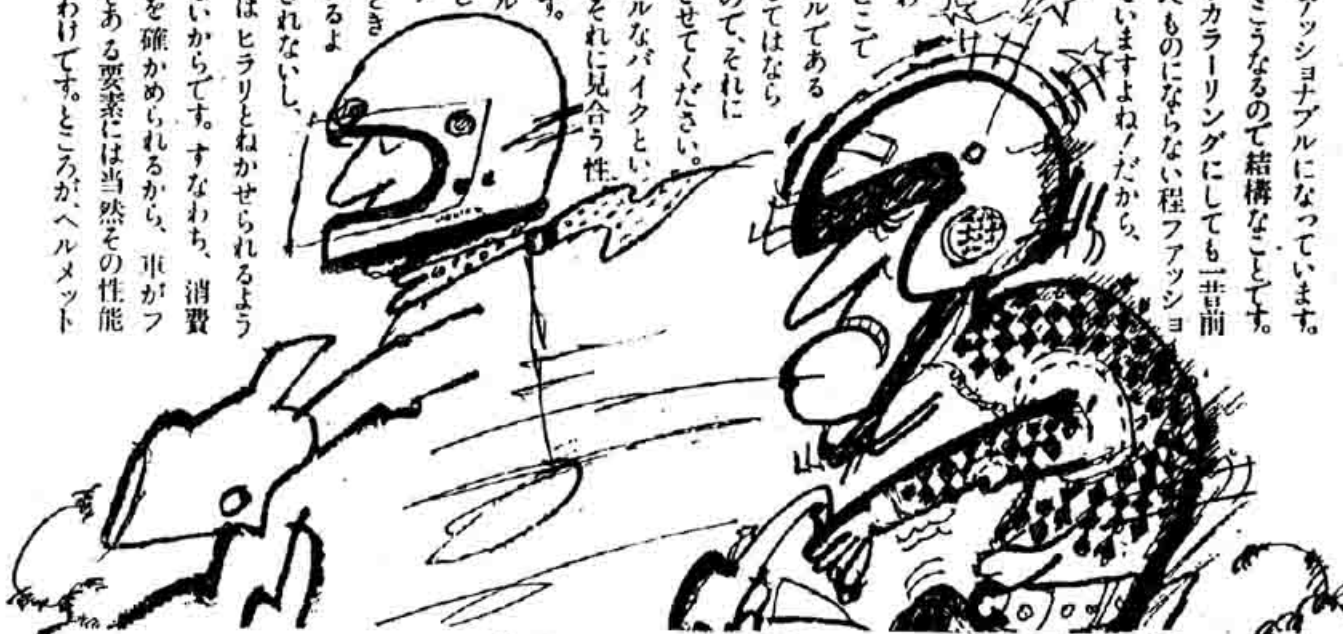


A R A I · N E W S

アライニュース

(株)新井広武 埼玉県大宮市東町2-12 ☎(0486)41-3825-7

世の中年々ファッションナブルになっていきます。平和だからこそうなるので結構なことですが、車のデザインやカラーリングにしても一昔前のもとは比べものにならない程ファッションナブルになっていきますよね。だからヘルメットにしても当然ファッションナブルなものが増えてくるわけですね。ただ、ここでファッションナブルであるについて見落してはならない点があるので、それについてお話させていただきます。ファッションナブルなバイクというのを見ると、それに見合う性能を持っていません。だって、パワフルなスタイルをしていても、スロットルを開けたときモタモタしているよ。うじや相手にされないし、スリムなバイクはヒラリとねかせられるようでないし売れないからです。すなわち、消費者自身で性能を確かめられるから、車がファッションナブルである要素には当然その性能も含まれてくるわけですね。ところが、ヘルメット



ファッションナブルなヘルメットとは？

となると、どうも恰好だけが先ばるようになります。それは一般の人には性能、特に安全性能というのがつかみにくいからでしょう。データーとしてつかんでいるのは、テスト装置を持つメーカーや検査機関ぐらいのもので多くの人たちは性能についてはメーカーの能書きを本当かなと首をひねっているのが現状でしょう。又、どのメーカーも皆同じような能書きをならべるから困ります。ですよ。そこをいきおい恰好に走ってしまっているんです。でも、ヘルメットにより性能に大きな差があるのも事実です。そして、ユーザーが身をもってそれを知るのは事故った時。その時です。いのを運んじやったといつても手遅れです。ファッションナブルである条件には性能は当然含まれるのだから、性能を見抜く力をつけましょう。バイクを選ぶ時、恰好や色だけじゃなく、パワー、サス、ブレーキなど性能を含めて判断しなさいやハンパな話です。テスト装置はなくても、ヘルメットの性能をつかんでいるユーザーは結構いますよ。なにはともあれ、本当にファッションナブルといえるのは恰好だけでなく、外観に見合った中身、安全性能をそなえたヘルメットだという事覚えておいてください。今度機会をあらためて性能を見抜くコツを伝授しましょう。まあ、たいしてむずかしい事じゃないから覚えておいて損はない。ご期待ください。